

タチカワレポート

第73期 中間報告

平成30年 1 月 1 日

平成30年 6 月 30 日



 立川ブラインド工業株式会社

証券コード：7989



家庭に、企業に、都市の中に。
 次代の生活文化を創造する、様々な事業を展開。
 インテリア産業の一翼を担う企業として、
 これからも時代を先駆ける活動を展開してまいります。

代表取締役社長 **立川光威**

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本年5月30日、当社は創業80周年を迎えました。

これもひとえに、日頃よりご愛顧を頂いております皆様方のご支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成30年6月30日をもって第73期（平成30年1月1日から平成30年6月30日まで）上半期が終了致しましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成30年 9月

CONTENTS 目次

経営者から皆様へ	1
営業の概況	2
セグメント別概況	3
当社グループの事業展開	4
New Products	5
Topics	6
連結財務諸表（要旨）	7
営業成績の概要	8
会社の概要	9
株式情報	10
株式についてのご案内	

経営の基本方針

当社グループは、ブラインド類・間仕切類を事業の核とするインテリアメーカーとして、また、長年培ってきた歯車技術を活かした機械式立体駐車装置、減速機メーカーとして今日に至っております。

その時代の要請に応え、お客様の信頼を得ることを第一に、国内外の多様な要望に応えることのできる製品の研究開発・生産の充実と高品質なサービスの提供により、生活環境の改善を図り、皆様の期待に応えることを経営の基本方針としております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益および雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、依然として個人消費は力強さを欠くなど先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、各種政策効果による下支えが続いたものの、新設住宅着工戸数は前年に比べ減少傾向にあり、厳しい環境が続いております。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である『パズルタワー』に重点を置いた営業を図り、コスト競争力の強化を推進し、収益改善に努め、減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組み、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、受注獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は19,527百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は1,774百万円（前年同期比13.7%減）、経常利益は1,803百万円（前年同期比13.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,121百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

業績の見通し

今後の見通しにつきましては、経済政策や金融政策の効果等を

背景に、緩やかな回復が続くことが期待されますが、当社グループ関連の建設・住宅業界におきましては、個人消費の低迷や住宅着工の見通しなど、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、室内外装品関連事業におきましては、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動、リフォーム需要の獲得強化、非住宅市場での拡販および収益力の強化に取り組むことで既存事業領域を深耕していくとともに、ホテル需要や海外市場等、成長分野への取組みを強化することで、さらなる売上拡大・収益確保に努めてまいります。駐車場装置関連事業におきましては、主力製品『パズルタワー』の物件獲得に注力し、付随する改造・改修、メンテナンス需要を獲得してまいります。減速機関連事業におきましては、当社が強みとする特殊減速機を中心に積極的な提案営業を展開してまいります。

これらを踏まえ、平成30年12月期の通期の連結業績予想につきましては、期初の予想の通り、売上高41,400百万円、営業利益3,750百万円、経常利益3,820百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,330百万円を見込んでおります。

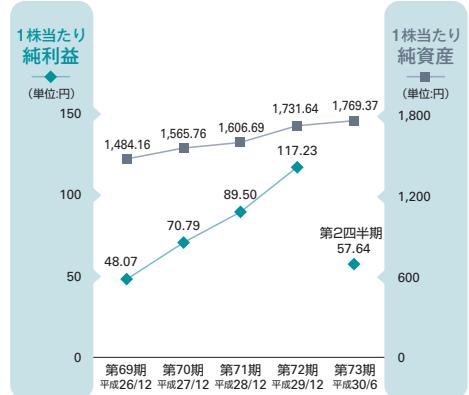
中間配当金について

中間配当につきましては、安定配当を維持する基本方針に沿って、例年通り1株につき5円とさせていただきます。

なお、利益配分に関する基本方針に基づく年間配当につきましては、安定配当とともに、業績目標の達成度に応じた配当を予定しております。

Financial Highlights

財務ハイライト



室内 外装品 関連事業



16,686百万円

ヨコ型ブラインド『パーフェクトシルキー』で好評であったワンタッチ操作で製品がゆっくりと下降する機能を、ヨコ型ブラインド『シルキーシェイディ』『シルキー』、ブリーツスクリーン『フィユ』に展開したほか、ハニカム（蜂の巣）構造で断熱性が高く、意匠性に優れたハニカムスクリーン『プレア』を発売しました。

さらに、ブリーツスクリーン『ゼファー』『フィユ』『ペルレ』の生地ラインナップや空間を便利に有効活用できる間仕切『プレイス』のラインナップをリニューアルし、顧客満足度の向上を図るとともに、5月より全国において新製品発表会を開催し、新製品の市場浸透や市場の拡大に取り組んでまいりました。

しかしながら、国内住宅市場の低迷等により、売上高は16,686百万円（前年同期比1.6%減）となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等による収益改善に努めたものの、販促活動に注力した結果、1,654百万円（前年同期比12.9%減）となりました。

連結セグメント別
売上高構成比
合計
19,527百万円

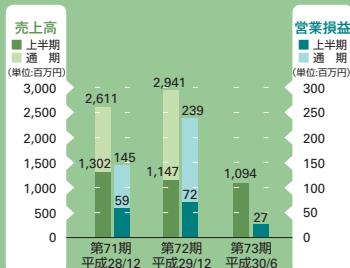
85.5%

5.6%

8.9%

駐車場装置関連事業

1,094百万円



改造・改修工事案件において受注が伸長するも、主力製品である『パズルタワー』の新規着工が減少したことにより、売上高は1,094百万円（前年同期比4.6%減）となりました。営業利益につきましては、資材価格等の上昇傾向が続くなか、選別受注と原価低減活動に取り組んだものの、売上の減少を補えず、27百万円（前年同期比62.4%減）となりました。

減速機関連事業

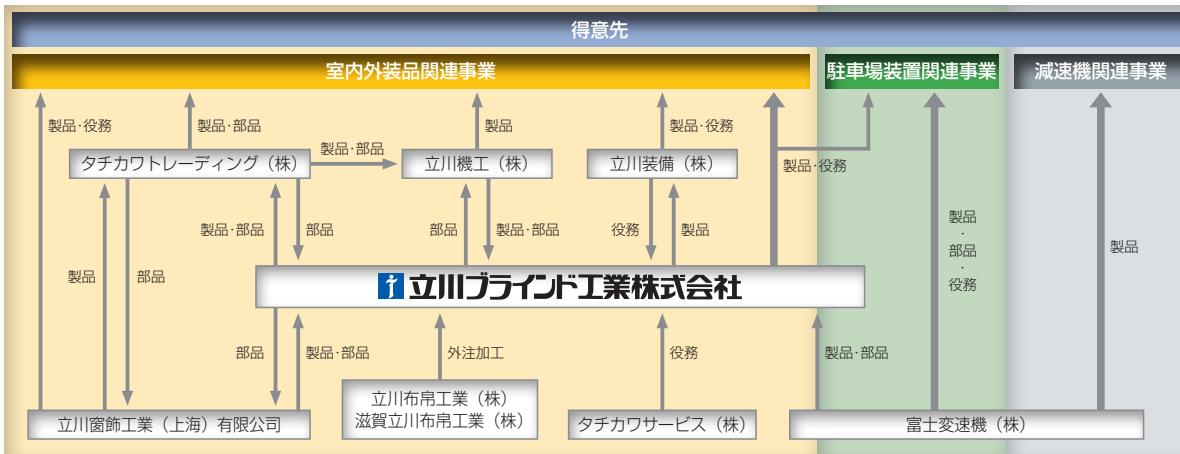
1,746百万円



国内外の設備投資動向が堅調に推移するなか、特殊減速機や産業機器向け汎用減速機等の受注が前年を上回り、売上高は1,746百万円（前年同期比6.1%増）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動に努めたことで、92百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

当社グループ（連結会社）は、当社および子会社8社で構成され、室内外装関連製品、機械式立体駐車装置等の製造販売およびそれらの設計施工を主な内容とし、さらに各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

■ 事業の系統図



(注) 富士変速機(株)は名古屋証券取引所に上場しております。

■ 主なグループ会社

立川機工株式会社	立川装備株式会社	富士変速機株式会社
本社所在地：千葉県山武市	本社所在地：東京都渋谷区	本社所在地：岐阜県岐阜市
資本金：3億円	資本金：3億円	資本金：25億750万円
事業内容：ブラインド、間仕切等の部品 およびカーテンレールの製造販売	事業内容：ブラインド、間仕切等の据付 および関連製品の販売	事業内容：変速機、減速機、立体駐車装置 および間仕切の製造販売

■ 中長期的な会社の経営戦略

当社グループでは、厳しい経営環境下においても安定した収益を計上できる事業体制の構築に向け、以下の項目を重点戦略としております。

① 既存事業領域の深耕

当社グループの主要な収益源である室内外装関連事業において、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動に注力し、高機能製品による需要創造やリフォーム市場への取り組みを強化することで、既存事業領域を深耕する。

② 成長分野への取り組み強化

中長期的な国内市場の縮小が見込まれるなか、外国人観光客の増加により活性化しているホテル需要に加え、海外市場など成長分野への取り組みを強化する。

③ 生産体制の強化

減速機関連事業、駐車場装置関連事業においては、生産リードタイムの短縮、工場稼働率の向上を図り、顧客対応力を強化する。

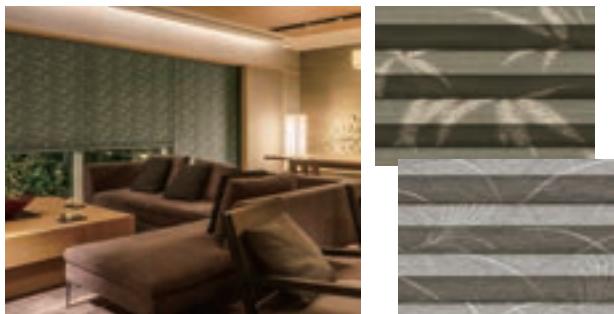
④ 経営資源の整備

将来に亘り安定的な収益基盤を構築するため、事業拠点や生産設備といった経営資源を計画的に整備していくとともに、人材育成に注力する。

プリーツスクリーン『ゼファー』『フィユ』『ペルレ』 生地ラインナップがリニューアル

平成30年5月

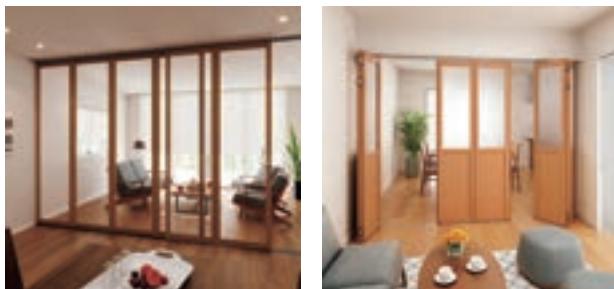
和をモチーフに織り柄で上質感を表現した「和織物」や、エンボス加工で柄を表す「和紙調」をはじめ、質感豊かで多彩なカラーバリエーションを取り揃えた「無地」「遮光」「レース」の生地（新柄23柄146アイテム）を追加。



間仕切『プレイス』 用途・シーンに合わせて選びやすくリニューアル

平成30年5月

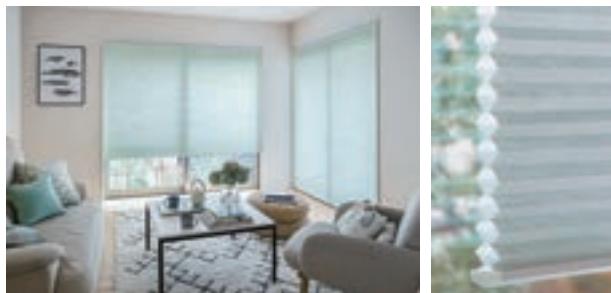
開閉方式をパネル全体を開ける時の「格納方式」とパネル全閉時の「出入りの方法」の組み合わせにすることで、用途やシーンに合わせてより選びやすくなりました。住宅のリビング・ダイニング、収納からオフィスの打ち合わせスペースや教育施設など幅広い用途にお使いいただけます。



ハニカムスクリーン『ブレア』を発売

平成30年5月

ハニカム（蜂の巣）構造の生地が作る空気層により、窓辺の断熱性が高まり、冷暖房効率を向上。生地の内側を昇降コードが通るため、コード穴からの光漏れがなく意匠性にも優れています。操作コードがなく安全性に優れた「コードレス式」やワンタッチ操作で製品がゆっくり下降する「RDS（減速降下機能）」を搭載した「コード式」のほか、「チェーン式」の3つの操作方法からお選びいただけます。



ワンタッチ操作で製品がゆっくり下降する 「RDS（減速降下機能）」を搭載 『シルキーシェイディ RDS』『シルキー RDS』

平成30年6月

ヨコ型ブラインド「パーフェクトシルキー」でご好評をいただいている「RDS（減速降下機能）」を、「シルキーシェイディ」「シルキー」のラインナップにも展開。『シルキーシェイディ RDS』『シルキー RDS』は、片手操作で手を放しても減速しながらブラインドが下降するため、女性や高齢者の方にも安全・安心にご使用いただけます。



「R+T 2018」 出展

2月27日～3月3日、ドイツ・シュツットガルトで3年に一度開催される世界最大規模のシャッター・ブラインド・門扉の国際見本市「R+T 2018」に出展。「パーフェクトシルキー」などを展示し、当社ブースに来訪した約60カ国の企業に高い技術力と機能性・品質性をアピールしました。



創業80周年記念株主優待の実施

平成30年5月30日をもちまして創業80周年を迎え、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表すとともに、創業80周年を記念するため、株主優待を実施いたします。平成30年6月30日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上所有の株主様に一律1,000円分の「クオカード」または「Amazonギフト券」を贈呈いたします。

ショールームのご案内

G I N Z A

銀座

タチカワショールーム

タチカワ銀座ショールームでは、お客様にご満足頂けるよう、豊富なインテリアの知識を持ったスタッフが、新製品の紹介をはじめ新しいコーディネート提案など、窓辺に限らずインテリアのいろいろな可能性をお伝えしています。ご相談の予約は下記で承っておりますので、お気軽にお電話下さい。



〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル
TEL (03) 3571-1373
定休日 月曜・祝日(土・日曜除く) 営業時間 10:00～18:00
JR・銀座線新橋駅より徒歩5分 銀座4丁目交差点より徒歩8分



ショールーム一覧

新宿ショールーム	東京都渋谷区代々木2-16-4 タチカワ新宿ビル 1F TEL (03) 3375-7071 定休日 水曜・祝日 営業時間 10:00～18:00
札幌ショールーム	北海道札幌市中央区南三条西12-325-3 3F TEL (011) 231-8051 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00～17:00
仙台ショールーム	宮城県仙台市青葉区宮町5-1-12 1F TEL (022) 275-1311 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00～17:00
信越ショールーム	新潟県新潟市東区大形本町1-2-23 TEL (025) 270-8111 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00～17:00
横浜ショールーム	神奈川県横浜市中区日本大通15 2F TEL (045) 662-0838 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00～17:30
名古屋ショールーム	愛知県名古屋市中区見玉3-4-4 3F TEL (052) 532-5085 定休日 日曜・祝日 営業時間 9:00～17:30
金沢ショールーム	石川県金沢市東力4-181 1F TEL (076) 291-1146 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00～17:30
大阪ショールーム	大阪府大阪市北区中津2-3-5 2F TEL (06) 6374-1813 定休日 日曜・祝日 営業時間 10:00～17:30
高松ショールーム	香川県高松市木太町六区2662-1 1F TEL (087) 837-2720 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00～17:00
広島ショールーム	広島県広島市南区東豊本町3-1-31 1F TEL (082) 284-1412 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00～17:30
上海ショールーム	中華人民共和国上海市徐匯区宜山路290号 TEL 0086-21-5396-6803 定休日 春節 営業時間 9:00～18:30

>> 連結貸借対照表

（単位：千円） （単位：百万円）

科目	当第2四半期 平成30年6月30日現在	前 期 平成29年12月31日現在	増減（△）
資産の部			
流動資産	34,458,171	34,083,752	374
固定資産	17,043,237	17,364,315	△ 321
資産合計	51,501,408	51,448,068	53
負債の部			
流動負債	9,361,328	10,036,717	△ 675
固定負債	3,425,860	3,410,124	15
負債合計	12,787,189	13,446,842	△ 659
純資産の部			
株主資本	34,226,833	33,300,376	926
資本金	4,475,000	4,475,000	0
資本剰余金	4,395,016	4,395,016	0
利益剰余金	26,026,919	25,099,889	927
自己株式	△ 670,102	△ 669,529	△ 0
その他の包括利益累計額	202,601	395,492	△ 192
非支配株主持分	4,284,783	4,305,357	△ 20
純資産合計	38,714,219	38,001,226	712
負債・純資産合計	51,501,408	51,448,068	53

総資産

総資産は51,501百万円で、前連結会計年度末と比較し53百万円の増加。

流動資産は34,458百万円で、前連結会計年度末と比較し374百万円の増加。主に、受取手形及び売掛金が減少した一方で、現金及び預金や棚卸資産が増加したことによるものです。

固定資産は17,043百万円で、前連結会計年度末と比較し321百万円の減少。主に、有形固定資産が減価償却により減少したことや、保有株式の時価の下落等により投資有価証券が減少したことによるものです。

負債

負債は12,787百万円で、前連結会計年度末と比較し659百万円の減少。主に、支払手形及び買掛金が増加した一方で、未払金および未払法人税等が減少したことによるものです。

純資産

純資産は38,714百万円で、前連結会計年度末と比較し712百万円の増加。主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことによるものです。なお、自己資本比率は66.9%と、前連結会計年度末と比較し、1.4ポイントの増加。

キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ535百万円増加し、12,978百万円。

【営業活動】

営業活動による資金は、1,169百万円の増加。税金等調整前四半期純利益1,800百万円に対し、法人税等の支払額734百万円、棚卸資産の増加額342百万円、未払金の減少額355百万円等による減少があった一方で、減価償却費352百万円、売上債権の減少額403百万円等による増加があったことによるものです。

【投資活動】

374百万円の減少。主に、有形固定資産の取得による支出337百万円、無形固定資産の取得による支出42百万円等によるものです。

【財務活動】

255百万円の減少。主に、リース債務の返済による支出13百万円、配当金の支払い240百万円等によるものです。

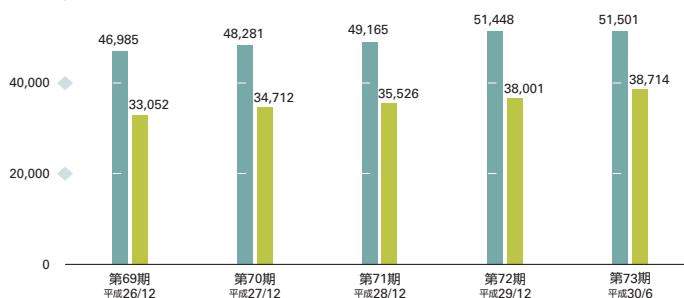
>> 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科目	当第2四半期 平成30年1月1日から 平成30年6月30日まで	前第2四半期 平成29年1月1日から 平成29年6月30日まで	前 期 平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,169,663	1,096,070	2,940,013
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 374,111	△ 451,776	△ 632,674
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 255,206	△ 249,608	△ 385,836
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4,643	△ 3,961	3,252
現金及び現金同等物の増減額（△減少額）	535,702	390,723	1,924,754
現金及び現金同等物の期首残高	12,442,493	10,517,738	10,517,738
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	12,978,196	10,908,462	12,442,493

>> 総資産／純資産

（単位：百万円）



>> 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 平成30年1月1日から 平成30年6月30日まで	前第2四半期 平成29年1月1日から 平成29年6月30日まで	前 期 平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで
売上高	19,527,798	19,755,370	40,105,777
(前年同期比)	(△1.2%)	(+0.2%)	(+1.9%)
売上原価	10,915,788	11,006,270	22,683,764
売上総利益	8,612,010	8,749,099	17,422,013
販売費及び一般管理費	6,837,302	6,692,981	13,778,796
営業利益	1,774,708	2,056,118	3,643,216
(前年同期比)	(△13.7%)	(+29.0%)	(+27.0%)
営業外収益	87,013	86,007	172,195
営業外費用	58,024	57,920	101,302
経常利益	1,803,698	2,084,205	3,714,109
特別利益	—	59	364
特別損失	3,194	471	4,655
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,800,503	2,083,794	3,709,818
法人税、住民税及び事業税	530,375	577,766	1,334,175
法人税等調整額	107,981	149,175	△15,415
四半期(当期)純利益	1,162,147	1,356,851	2,391,058
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	40,528	46,610	109,807
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,121,618	1,310,241	2,281,250

>> セグメント情報

(単位：千円)

当第2四半期 平成30年1月1日から平成30年6月30日まで	室内外装品関連事業	駐車場装置関連事業	減速機関連事業
売上高	16,686,419	1,094,913	1,746,465
(前年同期比)	(△1.6%)	(△4.6%)	(+6.1%)
営業利益	1,654,759	27,374	92,574
(前年同期比)	(△12.9%)	(△62.4%)	(+11.6%)

■ 営業成績の概要

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益および雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、依然として個人消費は力強さを欠くなど先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、各種政策効果による支えが続いたものの、新設住宅着工戸数は前年に比べ減少傾向にあり、厳しい環境が続いております。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりま

した。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である『パズルタワー』に重点を置いた営業を図り、コスト競争力の強化を推進し、収益改善に努め、減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組み、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、受注獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は19,527百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益は1,774百万円(前年同期比13.7%減)、経常利益は1,803百万円(前年同期比13.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,121百万円(前年同期比14.4%減)となりました。

■ 会社の概要

社名	立川ブラインド工業株式会社
英文社名	TACHIKAWA CORPORATION
創業	昭和13年5月
設立	昭和22年10月
資本金	44億7,500万円
国土交通大臣許可	内装仕上工事業（般-27）第5037号 建具工事業（般-27）第5037号 機械器具設置工事業（般-27）第5037号 建築工事業（特-27）第5037号
上場取引所	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	7989
本社所在地	東京都港区三田三丁目1番12号
電話	(03) 5484-6140
ホームページアドレス	http://www.blind.co.jp
従業員数	連結1,239名 単体803名 ※パート・契約社員等を除く

■ 営業品目

区分	品目の内容
ブラインド類	ベネシャン（横型）ブラインド、 パーチカル（縦型）ブラインド、 天窓用ブラインド、ロールスクリーン等
間仕切類	アコーディオン式間仕切、パネル式間仕切
その他	カーテンレール、製品取付、その他

■ 連結会社

国内	
富士変速機株式会社 岐阜県岐阜市中洲町18	タチカワトレーディング株式会社 東京都港区三田3-1-12
立川機工株式会社 千葉県山武市松ヶ谷口2687	タチカワサービス株式会社 東京都港区三田3-1-12
立川装備株式会社 東京都渋谷区代々木2-16-4	
立川布帛工業株式会社 新潟県五泉市今泉709-1	
海外	
滋賀立川布帛工業株式会社 滋賀県愛知郡愛荘町東円堂923-1	立川窗飾工業（上海）有限公司 上海市嘉定区葉城路1630号

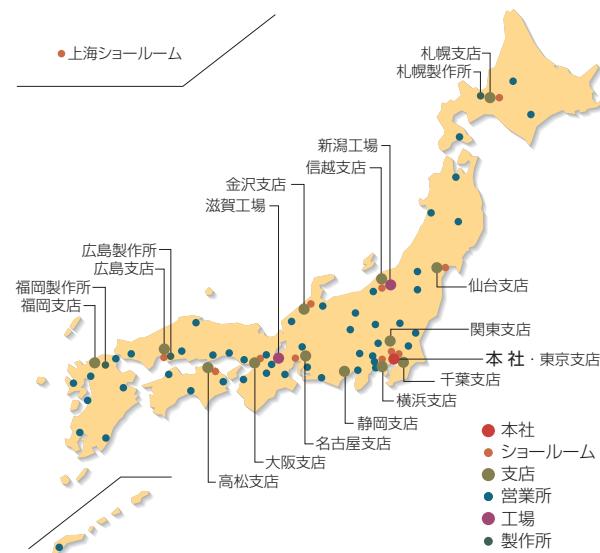
■ 取締役および監査役

代表取締役社長	立川光威
常務取締役	竹中伸也
取締役	藤田達之
取締役	安部田武久
取締役	栗原 育
取締役	山岸万人
取締役	八角和
取締役	蓮井隆之
取締役	坪井節子※1
常勤監査役	嘉村成人
監査役	高橋勇三※2
監査役	杉原麗※2

(注) ※1 取締役のうち坪井節子は社外取締役であります。

※2 監査役のうち高橋勇三および杉原麗の両氏は、社外監査役であります。

■ 当社ネットワーク



■ 株式の状況

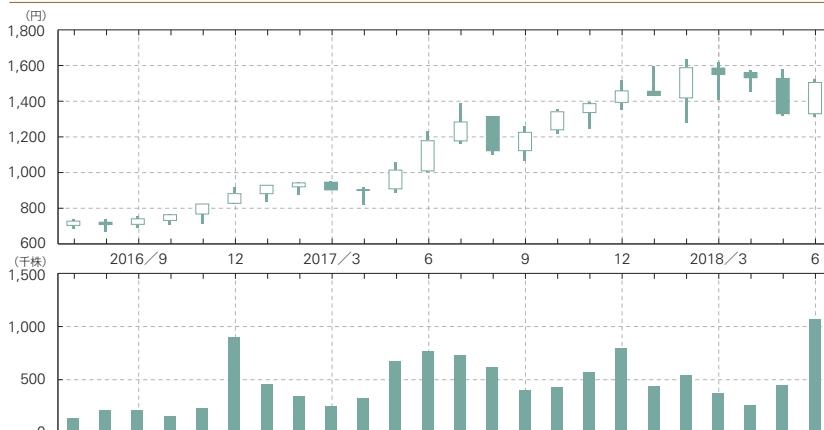
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	20,763,600株
株主数	9,563名

大株主および持株数（上位10名）

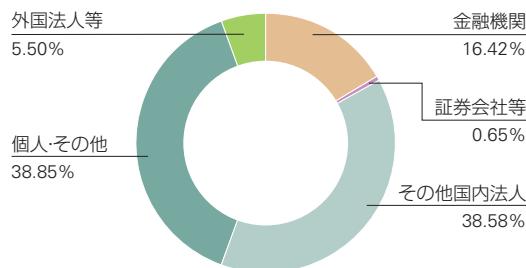
株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
有限会社立川恒産	4,117	21.20
タチカワプラインド取引先持株会	1,948	10.03
更生保護法人立川更生保護財団	1,331	6.85
株式会社三菱UFJ銀行	553	2.85
立川 光威	495	2.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	482	2.49
株式会社りそな銀行	460	2.37
日本生命保険相互会社	373	1.92
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	346	1.78
タチカワ社員持株会	338	1.74

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
 (注) 2. 当社は自己株式1,305千株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

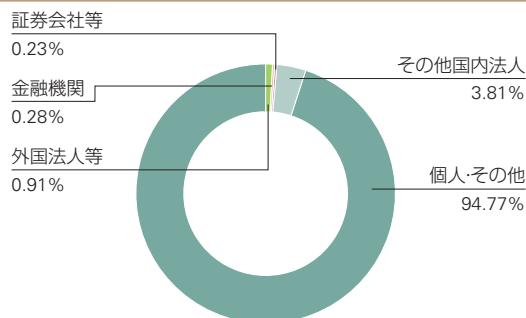
■ 株価および出来高の推移



■ 所有者別持株比率



■ 所有者別株主比率



当社ホームページでは決算短信などのIR情報や、当事業や製品・サービスなどさまざまな情報を発信しております。

<http://www.blind.co.jp>



株主優待のご案内

創業80周年記念優待

平成30年5月30日をもちまして創業80周年を迎え、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表すとともに、創業80周年を記念するため、株主優待を実施いたしました。

基準日：平成30年6月30日（今回限り）

100株以上所有の株主様に一律1,000円分の「クオカード」または「Amazonギフト券」を贈呈。

オリジナルクオカードの贈呈（300株以上保有の株主様）

基準日：12月末日（年1回）

所有株式数・保有期間に応じて、オリジナルクオカードを以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	保有期間	3年未満	3年以上
300株以上 500株未満		1,000円分	1,500円分
500株以上 1,000株未満		2,000円分	2,500円分
1,000株以上		3,000円分	4,000円分

当社対象製品ご購入優待（100株以上保有の株主様）

基準日：6月末日・12月末日（年2回）

当社製品をご購入いただいた株主の皆様へ所有株式数・購入台数に応じて、以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	優待内容
100株以上 300株未満	当社製品購入1台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
300株以上 500株未満	当社製品購入2台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
500株以上 1,000株未満	当社製品購入3台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
1,000株以上	当社製品購入5台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈

※対象株主の方へ所定の申し込みハガキを送付いたします。
この申し込みハガキはお知り合いの方への譲渡が可能です。



【優待内容】クオカード（イメージ）

事業年度 1月1日～12月31日

定時株主総会 毎年3月

定時株主総会基準日 12月31日

剰余金配当基準日 12月31日（期末配当）
6月30日（中間配当）

公告方法 電子公告によります。
公告掲載URL

<http://www.blind.co.jp/koukoku/>

※事故その他のやむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

特別口座管理機関 日本証券代行株式会社

単元株式数 100株

登録情報（ご住所、配当金振込先など）の変更、その他諸手続きについて

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

配当金の受取りについて

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ち下さい。
また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

未受領の配当金の受取りについて

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行（株）証券代行部までお問い合わせ下さい。

単元未満株式（100株未満の株式）の買取・買増請求について

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

特別口座から一般口座への株式振替のお願い

特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

注）特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社に一般口座を開設（既に開設されている場合不要）し、特別口座から一般口座へ振替申請を行って下さい。

>> 郵便物送付先・お問い合わせ先

株主名簿管理人

〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711（フリーダイヤル）
ホームページアドレス
<https://www.tr.mufj.jp/daikou/>

特別口座管理機関

〒168-8620
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
☎ 0120-707-843（フリーダイヤル）
ホームページアドレス
<https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>